

平成 25 年度第 1 回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会

議事録（要旨）

平成 25 年 11 月 27 日（水） 13 時 30 分～
熊本市国際交流会館 国際会議室

- 1 開 会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 局長挨拶
 - 4 審議事項
 - (1) 委員長選任
委員長に平井聖委員を選任 職務代理に吉丸良治委員を選任
 - (2) 専門部会委員及び部会長選任
 - ・ 史跡部会と建築部会を統合し、史跡・建築部会とする。
 - ・ 計画策定部会は、委員 7 名及び部会長に今村克彦委員を選任
 - ・ 史跡・建築部会は、委員 6 名及び部会長に田中哲雄委員を選任
 - ・ 活用部会は、委員 9 名及び部会長に毛利秀士委員を選任
 - 5 委員会及び各専門部会についての説明
 - (1) 委員会
 - (2) 計画策定部会
 - (3) 史跡・建築部会
 - (4) 活用部会
- 主な質疑応答
- (委 員) 特別史跡熊本城跡保存管理計画改訂スケジュールは？
(事務局) ・当初は平成 26 年度改訂予定であったが、文化庁より総括報告書（整備事業編）作成の上、改訂すべきとの指導を受ける。
 - ・平成 26・27 年の 2 年間で総括報告書（整備事業編）を作成し、平成 28 年度の改訂を考えている。
- (委 員) 保存整備計画は平成 28 年度まで待たなければならないのか。
(事務局) ・調査研究センターにおいて平成 26・27 年度総括報告書（整備事業編）作成に全力で取り組む。
 - ・文化庁と相談し、特別史跡熊本城跡保存管理計画の改訂は平成 28 年度が妥当なスケジュールではないかと判断している。
- (委 員) 保存整備計画も同時に進めるのか。保存管理計画との関係は。

- (事務局)・保存整備計画は保存管理計画を踏まえてという形になるため、若干スケジュールがズレてくると考えている。
- (委員) 調査研究センターは他にあるのか。また、今頃設置するのかという感がある。
- (事務局)・石川県金沢城調査研究所、姫路市にある日本城郭研究センターの2箇所ある。
- ・これまで発掘調査等は埋蔵文化財調査室、復元整備は熊本城総合事務所という形で連携し調査研究は進めてきたと認識しているが、熊本城の魅力、文化財の本質的な価値を明らかにして次世代に引きつがなければならないとして新たに設置した。
- (委員) 高麗門の遺跡が出てきたが、城域の範囲は。
- (事務局)・計画策定部会では、旧城域(約98ha)に新町地区を含めた惣構を計画策定対象範囲として審議を進めている。調査研究センターも同様の考え。
- (委員) 活用部会の平成26年度審議事項に「お城まつり等のイベント」とある。内容は別の部署が担当と思うが、活用部会での検討とは。
- (事務局) お城まつりについては熊本城総合事務所が担当している。文化財保護との調和をどのように図っていくかが課題であり、活用部会では活用の観点から説明させていただき、いろいろなご意見を聞かせていただきたいと考えているところ。
- (委員) 新三丁目御門の古写真が出てきた。今後、高麗門遺跡、新三丁目御門、堀跡等、部会の中で意見を出し合っていけたらいいと思う。

6 各委員自己紹介

7 その他

8 閉会